

日本地球電気磁気学会会報(52号)

1972年2月17日

日本地球電気磁気学会  
連絡先 東京都文京区弥生2丁目11の16  
郵便番号 113  
東京大学理学部地球物理学教室内  
電話 03-812-2111 内線 6476  
振替 東京 4860番

第51回総会ならびに講演会についてのお知らせ

会場：東京都文京区本郷7-3-1 東京大学好仁会会議室

日時：昭和47年5月31日(水)～6月3日(土)

次の日程の枠組を予定しております。

5月31日

6月 1日 岩石磁気・地球内部電磁気

2日 総会・懇親会

3日 宇宙線

講演申込締切日 4月24日(月)

講演予稿 “ 5月10日(水)

今回は学会創立25周年にあたりますのでそれを記念する行事も計画されております。

尚、講演予稿集の原稿は同封の規定原稿用紙を使用して、下記宛お送り下

さい，そのまま，ゼロックス印刷となりますから，必ず黒インク若しくは，黒ボールペンを使用して丁寧にお書き下さい。書き損じた場合は，用紙を当学会事務所で再交付いたします。

総会議事申込，講演申込，予稿原稿送り先

東京都文京区弥生2-11-16 〒113

東京大学理学部地球物理学教室内

日本地球電気磁気学会事務所

総会議事申込 : 第51回総会に議事申込み或いは議案提出なさる方は，5月10日(木)までに，福島直委員長宛に下記の要領でお送り下さい。

(書式は注意)

提案者氏名      議題      提案理由および要旨

#### 田中館賞受賞者推薦について

昭和46年6月第51回総会において田中館賞受賞者を推薦される方は，下記の書類を委員長或いは，当学会事務所宛に5月10日(木)までにお送り下さい。

1. 推薦調書（著者名，論文名，推薦理由，論文リスト，推薦者氏名）
2. 添付論文別刷

以上，各12部を郵送又は使送して下さい，書式は自由です。

#### 日本学術会議地球物理研究連絡委員会

##### 電磁気分科委員候補について

評議員および運営委員による選挙を行った結果，次の会員を候補者として学

会から推薦いたしました。

委員候補者： 永田 武，大林辰蔵，力武常次，福島 直，上山 弘，  
関戸弥太郎，前田憲一，前田 坦，柳原一夫，加藤愛雄

補欠候補者： 加藤 進，平尾邦雄，川井直人

#### 平尾，上田両会員の受賞について

此のたび，平尾邦雄会員は

「電離層プラズマの測定法と電子密度・温度の研究」

で第6回山路自然科学奨励賞を受賞されました。

また，上田誠也会員は

「Tectonics and thermal history of the Earth」

の研究業績により米国科学アカデミーより Alexander Agassiz  
medal を贈られることとなりました。

両会員の受賞に対し，会員の皆様と共に心からお喜び申し上げたいと存じます。

#### 1972年度上半期，奨励金，助成金の応募についてのお知らせ

例年のことですが今年度上半期の各種奨励金関係の締切日を参考の為に  
お知らせ致します。

応募につきましては，年齢，対象重点分野等で制限のあるものもございま  
すので学会事務所にお問い合わせ下さい。

件名	金額	締切日	宛先
朝日学術奨励金	制限なし	3月1日	〒100 東京都千代田区有楽町2-3 朝日新聞社企画部内 「朝日学術奨励金」係
三菱財団自然科学研究 助成	1件 3,000万円以内	5月31日	〒100 東京都千代田区丸の内2-6-2 財団法人 三菱財団
毎日学術奨励金	総額 600万円	6月30日	〒100 東京都千代田区一ツ橋1-1-1 毎日新聞社事業部 「毎日学術奨励金」係
偕成学術奨励金	総額 300万円	6月30日	〒103 東京都中央区日本橋兜町2-3-3 財団法人 偕成会事務局
山路自然科学振興財団 研究助成金	1件 100～200万円	8月31日	〒102 東京都千代田区三番町5 財団法人 山路ふみ子自然 科学振興財団

学術会議 IMS小委員会よりのお知らせ

国際学術連合 (ICSU) 内の宇宙空間研究委 (COSPAR) と太陽地球間物理委 (IUCSTP) は共同で国際磁気圏観測計画 (International Magnetospheric Study) を1975～77年に実施することを勧告し、世界各国の研究者の参加を求めている。

わが国においても日本学術会議の宇宙空間特委と地球観測特委の合議のもとに IMS 小委員会が設けられ、この国際観測計画に対して日本の果すべき役割についての検討が始められた。そして既に2回にわたって IMS 計画についてのシンポジウム(1971年6月のIASYシンポジウムと11月のIMSシンポジウム)を行ない、この計画の意義とそこで取り上げるべき研究課題についての討論が行なわれた。

その結果、IMS小委員会では下記の研究課題を取り上げ、これを中心として IMS 観測計画を立案することとなりました。

1971年11月18日

IMS 小委員会

委員長 大 林 辰 蔵

記

IMS 計画研究課題	世話人
1. 地球プラズマ圏の構造およびダイナミックス	松浦延夫(電波研), 大家 寛(京大工)
2. オーロラ・フレアー(磁気圏嵐)	小玉正弘(理 研), 平沢威男(東大理)
3. 地球コロナ	等松隆夫(東大理), 上山 弘(東北大理)
4. 太陽プラズマ域の探測	柿沼隆清(空電研), 上野裕幸(名大理)
5. 太陽・地球 空間の定常観測強化	福島 直(東大理)

ロイド・バークナー基金についてのお願い

かねてから故ロイド・V. バークナー博士 (Lloyd V. Berkner) の学界に対する功績を記念するために AGU 内に Lloyd V. Berkner Memorial Fund を設けて \$10 万を目標として募金を続けています。日本、特に私共の学会には故博士と親しい方や、又、故博士の影響を強く受けた方等がおられますので、その方々に募金に応じて下さるようお願いして参りました。

昨年末までに募金総額 \$32,280 に達したとのことですがまだ目標額の \$10 万にはほど遠い状態ですので同募金委員会は更に募金活動を続けたいと言ってきております。

会員諸氏の中でこの基金の趣旨に賛成して寄付をされる篤志の方が居られましたら額はいかほどでも結構ですから下記へ御送金下さるようお願い致します。

The Lloyd V. Berkner Memorial Fund  
American Geophysical Union  
1701. Street. Washington D.C. 20036.  
U. S. A.

ロイド・バークナー基金募金委員会日本連絡係

永 田 武

新入会員

第50回総会後に下記の方が会員となりました。

堀 内 俊 洋 (京大工)